

# JTBによる復興支援ツアー「GW 唐桑創生村開村！」

唐桑VC

## 共に歩む漁業復興支援プログラム

RQ唐桑センターは、「RQ唐桑海の体験センター」に名称変更し、さっそくGWに皆さんをお迎えするツアーが企画されています。

バスで行く一泊三日の旅で、牡蠣の養殖のお手伝いや、浜の料理教室、復興屋台村訪問などを予定しています。

詳細：<http://bit.ly/HMqXOK> (「JTB たびーと 唐桑」で検索)

RQ唐桑海の体験センター 090-4608-0072

we support!



被災地で学ぶ  
海の素晴らしさ  
海の厳しさ。

宮城県・唐桑

豊穡の海を  
実感体験。



### 聞き書きチーム『メモっこ』が出会った投網少年

仙台から登米に向かう途中の「伊豆沼」で、小学校低学年くらいの男の子3名が投網でフナをとっていました

「カゴを時々水に漬けて、フナの体が乾かないようにする」とか「フナにバレないようにしゃがんで待っている」とか

知識の継承っぷりが頼もしい子供達でした



ふりかえり企画

## RQ活動年表

RQは以下の方針に則って活動しています

※ ※ ※

#### 現場から学ぶ

災害現場は刻々と変化する

#### 徹底した情報共有

メンバーの入れ替わりに対応し、個々の自己判断を可能にする

#### ルールを最小限に

災害支援はその場限りの、本当に今被災地に役立つことだけに集中する

#### 誰も責任は負わない

その場での判断で、その責任を自分で負って動くから、大胆で臨機応変な活動ができる

#### アメンバー組織

優秀なリーダーが抜けてもすぐに他の人材が埋めて活動を続行する

#### ボランティアのためのボランティア

直接的な支援活動だけでなく、それを支えるためのボランティアを重視

#### 適材適所

誰もが互換撤去をするのではなく、得意なことでもボランティアに参加

#### 不公平な活動でもいい

公平であることよりも機動性を優先  
但し、不公平であるということを常に認識しながら活動してきた。



（初動・緊急支援期）  
被災者支援と地域交流

生活復興支援



- 4/5 「もらい湯」はじまる  
唐桑「海岸亭」にVC開設  
河北で中学生の勉強会開始
- 4/8 物資受け入れ一時中止（ニーズ変化に伴う）
- 4/11 薪ストーブ「暖助」が提供される  
唐桑で漂着物片付け開始  
陸前高田・月山神社避難所に泊まり込み手伝い  
美容師ボランティアによる初めてのヘアカット実施  
国連テント張り行脚開始／歌津中学炊き出し  
この頃登米に「タオルおじさん」登場
- 4/12 河北・大川中学校泥出し「マッドバスターズ」始動
- 4/17 唐桑で漁業基地、家屋片付け開始  
初のレクリエーション企画「こども元気村」開催  
フリーマーケット開催
- 4/20 東京本部で「ボランティア報告会」はじまる
- 4/22 東京の内田さん、一泊二日のボランティアツアーに参加（体験レポートを『東北に黒糖を送ろう！大戦戦しんぶん』の号外①、②（5/17）に寄稿）
- 4/29 歌津センター開設
- 4/30 漁具回収開始
- 5/2 三嶋神社清掃（歌津）
- 5/3 チーム鱒淵「足湯」「お茶っこ」はじまる  
「南三陸の懐かしい未来を実現する会」に参加  
「すずり石回収」プロジェクト（河北）  
西表より黒糖6箱発送（最終便）



「東北に黒糖を送ろう！大戦戦しんぶん」改題

復興支援『すけさきた』

しんぶん

穀雨朝日

「すけさきた」とは  
宮城県登米市あたりの言葉で  
「ボランティアに来たよ」という  
意味である



次回（立夏朝日号）に続く